

20 大月建環第 61 号
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 様

高知県幡多郡大月町弘見 2 2 3 0

大月町長 柴岡 邦男



今後の道路行政への意見・提案について（回答）

平成 20 年 9 月 1 9 日付国道企第 37 号で依頼のあった件については、別紙で回答いたします。

- 1) 都市と地方において道路に対する認識のずれが大いにあると思われる。道路特定財源予算の一般化に対する考え方などに顕著に現れている。「命の道」としてまだまだ道路整備は必要である。「中核医療都市」までの安全安心な輸送経路の確保・大月町の主要産業である活魚の輸送コストの削減に繋がる時間の短縮・大型車による輸送量の増及び観光立地を目指し活力ある地域づくりをすすめる当地において安全性と輸送コストの削減・時間の短縮などまだまだ道路整備が必要である。
- 道路整備の費用対効果を考えることは必要であるが、都市と地方、特に高齢化社会の進んでいる過疎地域においては、現在の事業評価手法は都市重視型であると思われる。降雨時における落石や通行規制・迂回路や主要路線しかない地域において生活をしているものにとっっては、費用対効果に表すことの出来ない多くの問題点があり、事業費・維持管理費に対する費用便益費だけで道路整備を進めてもらっては、益々地方は寂れて行き生活をしてゆけなくなってしまう。
- 2) 急峻な地形と脆弱な地質の上で生活を営んでいる大月町において、四国東南海・南海地震に備え緊急輸送・ライフラインの確保のため河川・海岸における地震・津波対策を早急にすすめる必要があります。地震により崩土・落石が数箇所起こり、橋梁の崩壊などにより集落が分断される事が予想されます。各種構造物の耐震化を進めるとともに、防災対策事業の補助率の増を望む。
- 3) 地方においては、高齢化社会であり企業誘致の望めない折、歳入の大幅な増を見込むことも出来ず、毎年税収入の落ち込みが厳しい状況であり、年々、公共事業の予算を組むことさえままならなくなっており、これからも益々苦しくなる一方である。社会資本ストックの維持管理を行ってゆくためにも、現在すすめられている地方道路整備臨時貸付金の制度が採択できるよう採択基準の拡大を図り対象となる事業拡大を進めてもらいたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

高知県大月町

○現状 1) 主要町道の道路整備の完了から数十年経過いたしており、老朽化が見られます。津々浦々の各集落を結ぶ路線が数多くあり管理維持をしてゆくことが重要な問題点であります。 2) 今後予想される「東南海・南海地震」に備え老朽化した橋梁の点検及び補修修繕をおこなう必要があるが、橋梁数が多く町費等の問題があり実施に向けて問題点がある。 3) 道路整備の費用対効果を測る現行の手段では、都市に比べ地方は不利益をこうむる。	○課題 1) 維持修繕に掛かる予算を組むこともままならない状況にあり、国からの補助を何らかの形で望むものであります。 ○無利子貸付制度の事業採択の拡充 2) 補助制度の拡充 3) 地方と都市での道路整備における費用対効果を測る分析手法の中に地方を考慮した評価項目を加味してもらいたい。
--	--

1) 大月町は、これと言った企業もなく第1次産業と観光産業で成り立っている町であります。

よって、税収入の大幅な増も見込めず高齢者社会の波が押し寄せ、町に掛かる医療費等の負担が年々増大している現状であります。自然環境を生かした住みよい町づくり、活力ある町づくりを進めてゆることが大事な使命でもあります。

そのためには、都市と地方を結ぶ輸送時間の短縮と輸送コストの削減を行うことによって、第1次産業の販売・販路拡大に繋がるものだと思っております。

地域の自然・文化・歴史を生かした環境保全・景観形成を壊さないように交流の場の整備を行い、都市や地方を結ぶ交通網の整備を進めながら交流人口の増を期待し、観光客の誘致を進めます。地域の地場産を生かしたおもてなしの心で地域と協同・連携しながら町づくりを進めて行きます。

2) 安全安心な地域社会資本整備を目指します。

各地域の自主防災組織を連携させることによって災害に強い地域をつくります。

各種構造物の耐震診断を行い耐震化を進め弱者にとって安全安心なくらしを守る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

高知県大月町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	地方道路交付金事業	○ 水産加工品・活魚の輸送コストの減及び走行時間・走行距離の減 ○ 交流人口の増 ○ 高度医療機関までの時間の短縮	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	交通安全施設等整備事業	○都市との交流人口の拡大 ○高齢社会に向けて安全安心な快適な生活空間の整備 ○町づくりの再生整備	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・ ・ ・ ・	□□□□□	□□□□□	□□□□□